

平成30年度
事業報告書及び附属明細書

一般財団法人 有明環境整備公社

平成30年度 事業報告書

§ 1 実施事業（継続事業）の状況

1. 浄化槽法定検査事業

浄化槽の適正な普及促進を図り、生活環境の保全に寄与することを目的として、以下のとおり浄化槽法に基づく水質検査を実施した。

(単位：円)

検査区分		予算	実績	予算対比	前年度実績	前年対比
法7条検査	件数	120	123	102.5%	127	96.9%
	金額	708,000	732,700	103.5%	716,300	102.3%
法11条検査	件数	6,098	6,045	99.1%	6,184	97.8%
	金額	32,976,000	32,836,500	99.6%	33,615,000	97.7%

また、本年度の大牟田市における法定検査実施率は以下のとおりとなった。

検査区分	検査対象基数	検査実施基数	実施率	*前年度全国*
法7条検査	123基	123基	100.0%	94.5%
法11条検査	6,338基	6,045基	95.4%	41.8%

2. 浄化槽関係業界に対する研修会等の実施

浄化槽に携わる業界関係者の技術及び資質の向上を図り、浄化槽の適正な普及促進に資するため、大牟田市と共催にて以下のとおり研修会を実施した。本年度も前年度に引き続き、浄化槽に関する教育研究機関である（公財）日本環境整備教育センターに講師を依頼し、浄化槽維持管理のあり方について、関係者に対する研修を行った。

- 1) 日時：平成30年12月13日（木）13:00～16:30
- 2) 場所：大牟田市エコサックセンター 3階会議室
- 3) 内容：性能評価型浄化槽の構造及び機能と維持管理のポイント
- 4) 講師：公益財団法人日本環境整備教育センター
調査・研究グループ グループリーダー 仁木圭三 氏
- 5) 対象：浄化槽管理士及び清掃実務者（51名出席）



3. 浄化槽設置者等に対する啓発活動

生活排水による河川等の汚濁の現状、原因等を市民に認識してもらうとともに、水環境浄化に対する浄化槽の果たす役割を広く理解してもらうことにより、浄化槽の適正な普及促進を図ることを目的として、大牟田市と共催にて以下のとおり啓発イベントを開催した。

- 1) 日時：平成30年11月18日（日） 10:00～15:00
- 2) 場所：大牟田市エコサンクセンター（おおむたエコタウンフェア2018）
- 3) 内容：浄化槽及びパネル類の展示並びに相談コーナーの開設ほか
- 4) 対象：一般市民（来場者数約3,500名）



4. 環境に関する情報の提供

浄化槽や水環境に関連する情報を提供するため、機関誌クリーンネットワーク（vol.45）を発行し、関係行政機関や団体、業界等を対象に配布した。

また、公社のホームページについても適宜内容を更新し、広報活動の充実強化を図った。

5. 食用廃油回収事業の実施

小型合併処理浄化槽に流入する食用廃油の量と影響を実態調査し、浄化槽機能の正常化と設置者への啓発を図ることを目的として、廃油回収容器の配布及び廃油の回収を次のとおり実施した。

なお、回収した廃油については、軽油代替燃料（バイオディーゼル燃料）へ転換し、設置者への還元については、浄化槽の機能維持の観点から水切りネットを配布した。

回収した廃油の量	（平成30年4月～平成31年3月）	延べ3,410ℓ
配布した水切りネットの数量	（平成30年4月～平成31年3月）	720個

§ 2 その他の主要な事業の状況

1. 環境計量証明事業

工場排水や河川水等の水質分析、産業廃棄物や土壌等の溶出・含有量試験等、大牟田市をはじめとする近隣自治体・事業所等からの依頼により以下のとおり実施した。

(単位：円)

	予 算	実 績	予算対比	前年度実績	前年対比
件数	3,380	3,232	95.6%	3,140	102.9%
金額	44,640,000	48,491,063	108.6%	48,224,985	100.6%

なお、分析技術の向上と精度管理の徹底を図るため、次のとおり外部精度管理等に参加し、いずれも管理目標内の良好な結果を得た。

実施主体及び名称	内 容	実施時期
日本環境分析測定協会 分析値自己管理会「SELF」	インジウム	30年5月
	全クロム	30年8月
	硝酸性窒素	30年11月
	電気伝導率	31年2月
日本分析化学会 ISO/IEC17043に基づく技能試験	水中の陰イオン分析（4項目）	30年7月
環境省 環境測定分析統一精度管理調査	基本精度管理（模擬排水試料7項目）	30年8月
	高度精度管理（底質試料3項目）	
福岡県環境計量証明事業協会 平成30年度クロスチェック	下水処理水中の BOD、溶解性鉄及び溶解性マンガン	30年10月

2. 水道水質検査事業

水道法に基づく浄水・原水の水質検査や井戸水の飲用適否検査等、近隣自治体や事業所、個人からの依頼により、以下のとおり実施した。

(単位：円)

	予 算	実 績	予算対比	前年度実績	前年対比
件数	600	570	95.0%	592	96.3%
金額	5,400,000	6,108,067	113.1%	5,884,820	103.8%

なお、水道法第20条第3項に規定する厚生労働大臣登録検査機関の分析精度の向上を目的とした「水道水質検査精度管理のための統一試料調査」及び全国給水衛生検査協会が実施する「平成30年度精度管理調査」に次のとおり参加し、ともに管理目標内の良好な結果を得た。

1) 厚生労働省統一試料調査

参加機関：平成30年4月1日現在のすべての水道法第20条第3項登録検査機関

調査項目：無機物分析…鉛及びその化合物

有機物分析…クロロホルム、ブロモジクロロメタン

試料配付：平成30年5月30日

提出期限：平成30年6月14日

2) 平成30年度精度管理調査

実施主体：一般社団法人全国給水衛生検査協会

調査項目：無機物分析…ホウ素、臭素酸

試料配付：平成30年10月22日

提出期限：平成30年11月12日

3. 浄化槽放流水検査事業

大牟田市浄化槽法施行細則第7条の規定による浄化槽放流水の検査及び浄化槽法定検査における放流水BOD検査を以下のとおり実施した。

(単位：円)

検査区分		予 算	実 績	予算対比	前年度実績	前年対比
市細則検査	件数	983	973	99.0%	1,002	97.1%
	金額	9,457,000	9,341,136	98.8%	9,468,576	98.7%
BOD検査	件数	6,218	6,168	99.2%	6,311	97.7%
	金額	22,384,000	22,204,800	99.2%	22,719,600	97.7%

4. 学生のインターンシップ受入について

学生のインターンシップ（学外実習）については、従前より積極的に受け入れており、本年度も有明工業高等専門学校の学生について、以下のとおり実習を行った。

1) 期間：平成30年8月22日～8月29日

2) 人数：1名

3) 内容：飲料水、排水等の水質分析



平成30年度 事業報告書の附属明細書

1. 会議開催等の状況

1) 評議員会

(1) 第14回評議員会（平成30年4月25日書面表決）

- 決議事項 ①評議員の辞任及び選任について
②理事の辞任及び選任について

(2) 第15回評議員会（平成30年6月27日開催）

- 決議事項 ①平成29年度決算報告の件
②定款一部改正の件
③任期満了に伴う理事及び監事選任の件

- 報告事項 ①平成29年度事業報告の件
②平成29年度公益目的支出計画実施報告の件
③平成30年度事業計画・予算の件

2) 理事会

(1) 第21回理事会（平成30年4月10日書面表決）

- 決議事項 ①評議員及び理事の改選に係る評議員会の開催について

(2) 第22回理事会（平成30年5月30日開催）

- 決議事項 ①平成29年度事業報告及び附属明細書承認の件
②平成29年度計算書類及び附属明細書承認の件
③平成29年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
④監査報告の件
⑤定款一部改正の件
⑥任期満了に伴う役員候補者選出の件
⑦定時評議員会開催日時

- 報告事項 ①代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

(3) 第23回理事会（平成30年6月27日開催）

- 決議事項 ①代表理事及び業務執行理事選定の件
②役員報酬改定の件

(4) 第24回理事会（平成31年3月27日開催）

- 決議事項 ①平成30年度第1次補正予算（案）承認の件
②2019年度事業計画書（案）承認の件
③2019年度予算（案）承認の件

- 報告事項 ①代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

2. 会員の状況（平成31年3月31日現在）

区 分	当 期 末	前期末比増減
浄化槽保守点検・清掃業者	5社	±0社
浄化槽メーカー	9社	-1社
浄化槽工事業者	21社	±0社
合 計	35社	-1社

退会：1社（メーカー）

3. 役員等に関する事項（平成31年3月31日現在・50音順）

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現職等
理 事 長	角 敬之	常勤	元福岡県環境部長
専務理事	本村 知義	常勤	元大牟田市環境部長
理 事	伊豫 英樹	非常勤	大牟田市環境部調整監
理 事	久留須智子	非常勤	共栄環境開発(株)代表取締役社長
理 事	永江 丈徳	非常勤	大牟田市企業局総務課長
理 事	森 研一郎	非常勤	(株)森商事取締役会長
理 事	山本 直隆	非常勤	(一財)福岡県浄化槽協会専務理事
監 事	井手 森生	非常勤	公認会計士
監 事	前田 宣博	非常勤	大牟田市環境保全課長
評 議 員	岡田 和彦	非常勤	大牟田市環境部長
評 議 員	久留須昭夫	非常勤	共栄環境開発(株)取締役会長
評 議 員	三浦 正吏	非常勤	(一財)福岡県浄化槽協会理事長
評 議 員	山口 洋志	非常勤	福岡県環境部廃棄物対策課長

4. 職員に関する事項（平成31年3月31日現在）

職 員 数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 子	9名	±0名	46歳8ヶ月
女 子	4名	±0名	40歳2ヶ月
合計又は平均	13名	±0名	44歳8ヶ月

有資格者数	前期末比増減
環境計量士	5名 +1名
公害防止管理者	5名 ±0名
浄化槽法定検査員	9名 ±0名
浄化槽技術管理者	6名 ±0名
浄化槽管理士	9名 ±0名

5. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項なし